

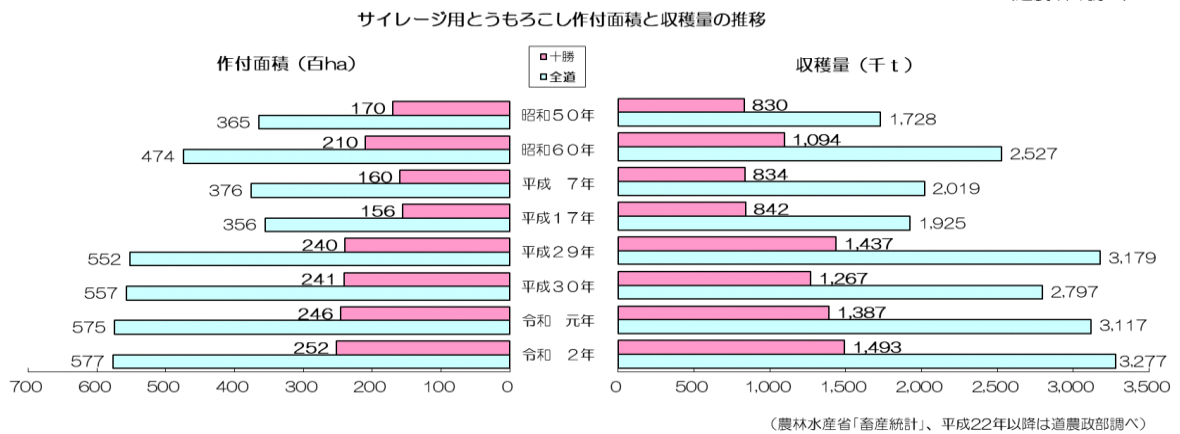
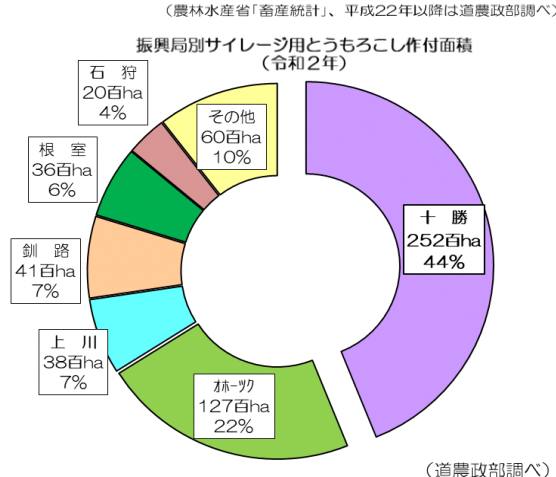
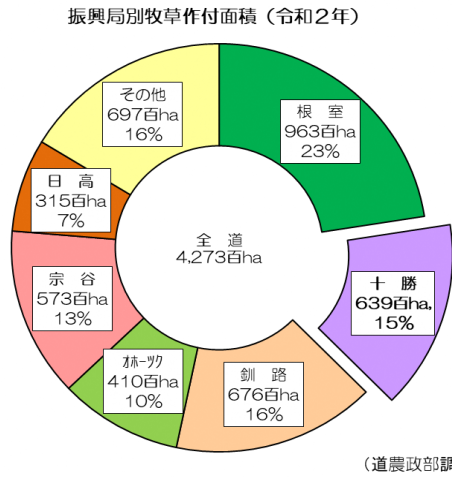
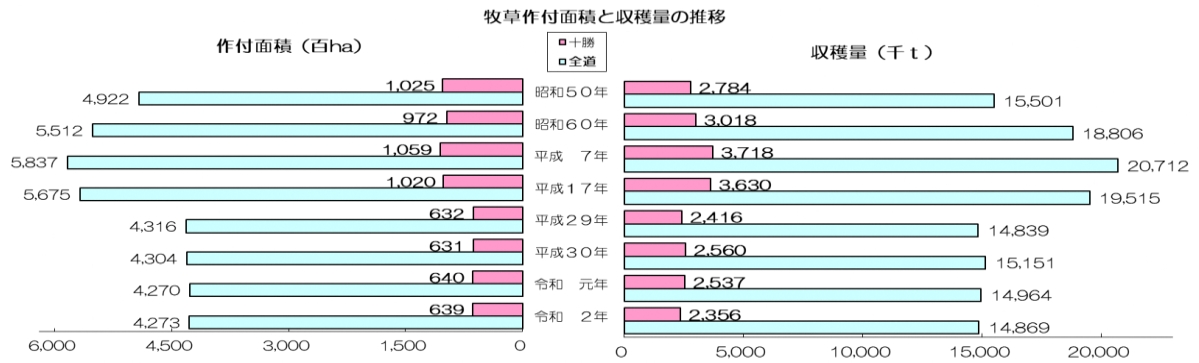
8 農業生産の概要(畜産)

5 飼料作物

根釧地域などの草地型酪農地帯と比較して、サイレージ用とうもろこしの作付が多く、畑作地帯の特色を活かした自給飼料確保を図っている。

飼料価格を左右する海外の穀物相場は今後も不安定な状態で推移することが推測され、配合飼料価格も依然として高止まりの中、飼料自給率の向上対策は、経営への影響を最小限に止める重要な課題となっている。

このため、地域の営農支援組織として重要な役割を担っているコントラクターの強化はもとより、最近では、TMRセンターの取組や集約放牧技術の普及なども進められている。



9 農業農村整備事業

○ 農業農村整備

農業農村整備は、農業の生産基盤と農村の生活環境の整備を通じて、農業・農村の持続的発展、農村の振興を図り、「食」の安定供給の確保や農業・農村が有する多面的機能の発揮を目的とする取組である。

1 農業農村整備の役割

十勝管内の農業は、農業産出額が耕種部門、畜産部門とも全道第1位(※)となっており、北海道を代表する食料供給地域として重要な役割を果たすとともに地域を支える基幹産業となっている。

この農業生産の根幹を支えているのが、品種改良や栽培技術の向上と排水改良や客土などの土地改良を行う農業農村整備である。

管内の農業農村整備では、区画整理や暗きょ排水、水利施設や農道、草地畜産基盤など、農作物の収量の増加や品質の向上、農作業効率を改善させるための整備を地域の要望を踏まえて計画的に進めている。

(※) 令和2年度北海道農業・農村統計表による。

■ 区画整理 (くかくせいり)

大型の農業機械が効率よく作業できるように、農地の傾斜を緩和したり区画を大型化します。これにより、農作業時間を大幅に短縮できます。



■ 暗きょ排水 (あんきょはいすい)

畑の土中に管と透水性の高い砂利等を設置し、畑の余剰水を排除します。これにより、作物の生育環境が改善され、収量・品質が向上します。また、畑の水はけが良くなることで、適期の農作業が可能となります。



■ 土層改良 (どそうかいりょう) 【客土 (きゃくど)、石礫除去 (せきれきじょきょ)】

畑に良質な土壌を投入したり石礫を除去することで作土の性質を改良します。

これにより、作物の収量増加や品質の向上、農作業効率の改善が図られます。

【客土】



【石礫除去】



9 農業農村整備事業

2 農業農村整備事業の実施状況

管内の耕地面積の約5割は排水不良土壌であることから、明きょ排水や暗きょ排水などの排水改良を主体に、客土や除れきなどの土層改良や高品質で安定した農産物の生産をささえる畑地かんがい施設の導入を水利施設等保全高度化事業（畑地帯総合整備事業）等により実施している。

また、全耕地面積の約3割を占める牧草地については、飼料の自給率向上のため、草地畜産基盤整備事業等により実施している。

これらの生産基盤整備とあわせて、農業の近代化・合理化や農村環境の改善に資する農道、営農飲雑用水施設等を農村整備事業等により実施している。

3 農業農村整備の展開方向

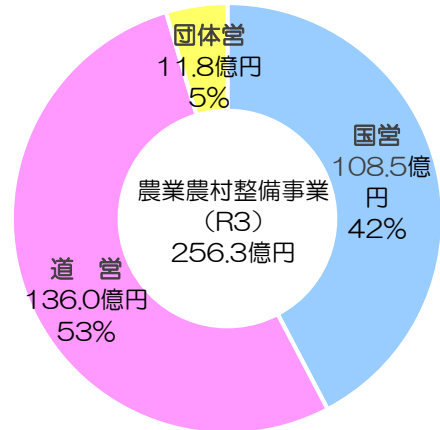
農業農村整備は、「安全・安心で良質な「食」の生産をささえる」、「多様な担い手と地域をささえる」、「豊かな農村環境をささえる」の3つに重点化した取組を展開し、豊かな農村空間の創造を目指している。

農業農村整備事業予算の推移

(単位:百万円)

事業区分		R2年度予算	R3年度予算
国 営	かんがい排水・直轄明渠排水等	5,280	10,850
	農地再編	0	0
	小 計	5,280	10,850
道 営	農地整備等	13,606	13,474
	水利施設整備	145	130
	防災減災	0	0
	小 計	13,751	13,604
団体営	団体営農業農村整備	1,020	1,177
	小 計	1,020	1,177
合 計		20,051	25,631

前年度補正予算を含む。



■排水路整備



■草地畜産基盤整備



■畑地かんがい整備



■通作条件整備

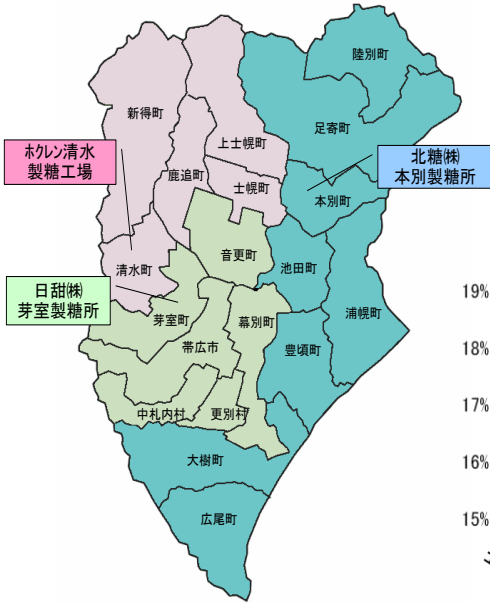


10 農畜産物の加工

(1) てん菜製糖

管内には3つの製糖工場があり、10月中旬から24時間操業で、道内の44%に当たる171万7千tのてん菜を処理し、27万4千tの砂糖を生産している。北海道糖業(株)本別製糖所の砂糖生産は2023年3月で終了(原料てん菜の買入は継続)することが公表されている。

製糖工場の位置と原料の集荷区域



工場別原料集荷量と砂糖生産量(令和2年産)

工場名	原料処理量t	砂糖生産量t (うち原料糖)		歩留%	截断期間	製糖期間
		生産量	原料糖			
日本甜菜糖業(株)芽室製糖所	1,021,554	164,000	(59,649)	16.05	10.12~2.7	10.12~4.19
ホクレン清水製糖工場	334,703	52,180	(8251)	15.59	10.19~2.23	10.18~2.23
北海道糖業(株)本別製糖所	360,787	57,549	(22,917)	15.95	10.13~2.27	10.13~2.28
合計	1,717,044	273,729	(90,817)			

(単位: t, %)

- ・原料糖: 本州の製糖メーカー原料として販売するもの。
- ・原料糖数量は砂糖生産量の内数である。

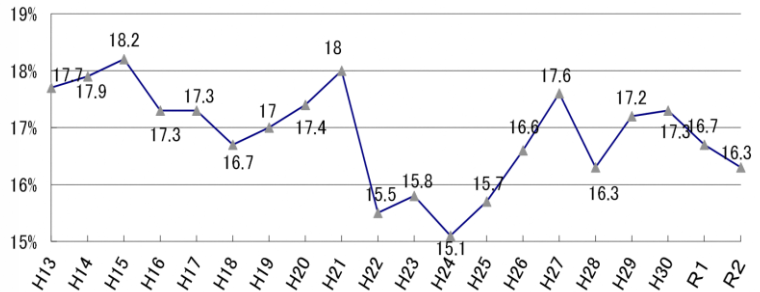
工場別原料集荷量と砂糖生産量(令和元年産)

工場名	原料処理量t	砂糖生産量t (うち原料糖)		歩留%	截断期間	製糖期間
		生産量	原料糖			
日本甜菜糖業(株)芽室製糖所	1,020,226	166,500	(45,037)	16.32	10.12~2.8	10.12~4.21
ホクレン清水製糖工場	331,433	53,220	(6831)	16.06	10.18~2.24	10.18~2.25
北海道糖業(株)本別製糖所	314,524	47,505	(9,124)	15.10	11.27~3.27	11.27~3.29
合計	1,666,183	267,225	(60,992)			

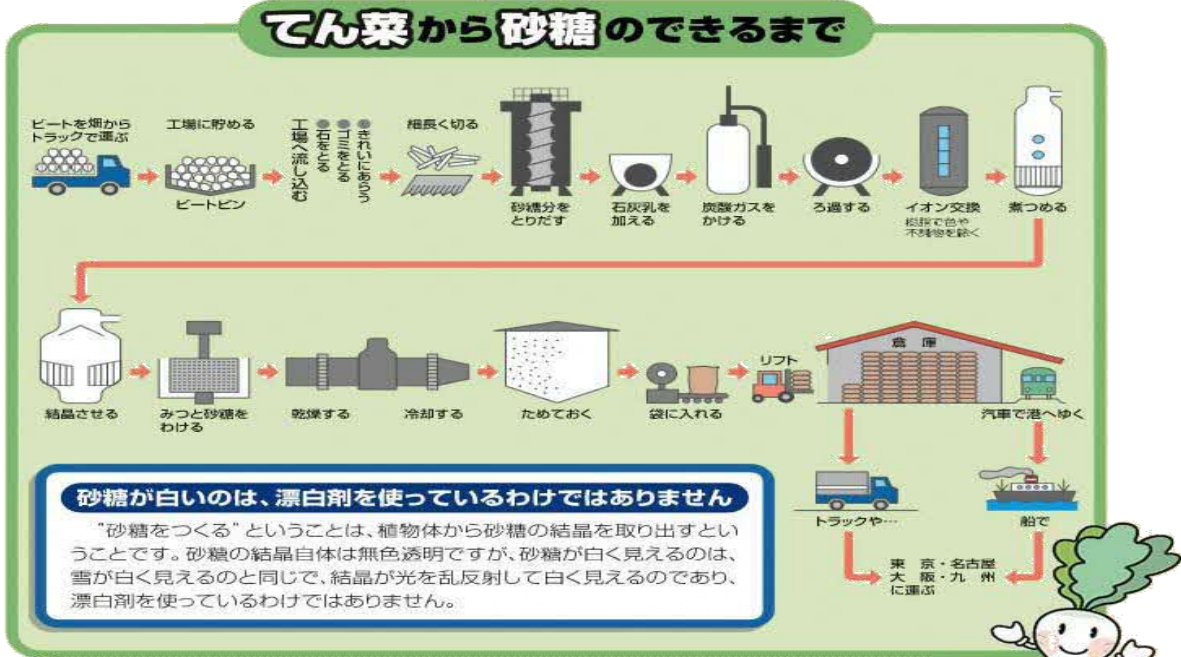
(単位: t, %)

- ・原料糖: 本州の製糖メーカー原料として販売するもの。
- ・原料糖数量は砂糖生産量の内数である。

十勝管内てん菜の糖分推移



(令和2年産てん菜の生産実績(てん菜糖業年鑑)より)



資料: 社団法人 北海道てん菜協会

シュガビー

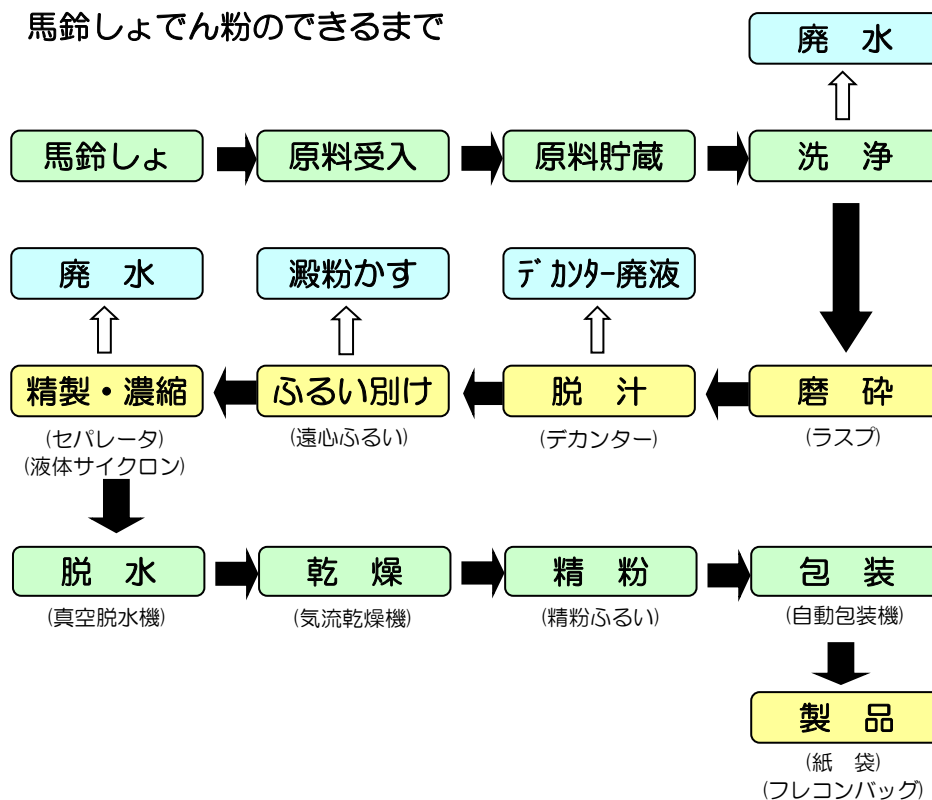
10 農畜産物の加工

(2) 馬鈴しょ加工

□ でん粉原料用

管内のでん粉工場では、8月下旬から12月上旬の期間で、令和2年産では、約5万5千tのでん粉を生産している。

なお、でん粉工場は、平成11年と13年に製造コストの低減を図るため合理化、省力化に向けた再編整備を行い、2工場が廃業し、現在では農協系3工場と商系1工場の4工場が操業している。



□ 加工食品用

管内の馬鈴しょ生産量のうち令和2年産では31万9千tの原料が加工食品用に向けられており、加工メーカーに供給される工場を設置し、ポテトチップ、フレンチフライ、コロッケなどの製造を行っている。

ポテトチップ用には、トヨシロ、きたひめ、フレンチフライ用には、ホッカイコガネ、コロッケ用には、男爵いもが主に利用されている。

□ 管内の主要な馬鈴しょ加工

- JA士幌
ポテトチップ、フレンチフライ、コロッケ
- ジェイエイめむろフーズ(株)
フレンチフライ、サラダ
- カルビーポテト(株)
じゃがりこ、ジャガビー、マッシュポテト

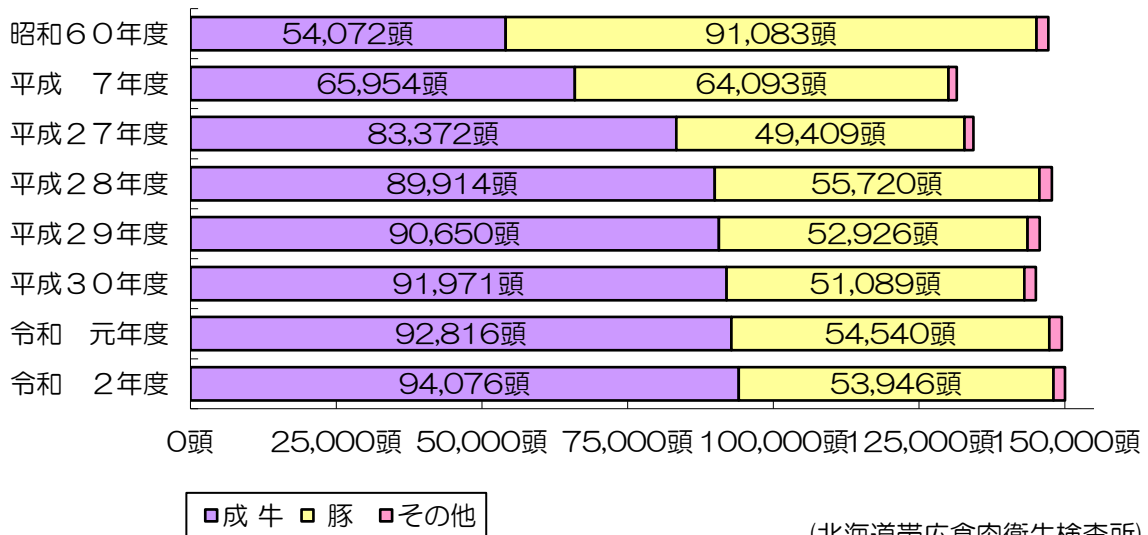
10 農畜産物の加工

(3) 食肉処理加工

株式会社北海道畜産公社十勝工場十勝総合食肉流通センターは、昭和54年に設立。現在は、第1・第2及び第3工場を合わせて1日の牛の処理能力が450頭と、国内最大レベルのと畜場であり、十勝管内の畜産振興と食肉流通の基幹施設として重要な役割を担っている。

HACCPに基づく衛生管理体制のもと、安全で安心な高品質の食肉加工が実施されており、第3工場が令和元年5月に道内初の食肉の米国輸出が可能な施設として国から認定されるなど、十勝産をはじめとする道内産牛肉の世界的な輸出拡大が期待される。

十勝総合食肉流通センター処理頭数の推移



【題名：麦稈ロールと夏の空】

令和2年度とち農業・農村フォトコンテスト
十勝の農村景観部門入選作品

11 関係機関・団体（農業協同組合）

○ 農業協同組合

農業協同組合とは、農業協同組合法（昭和22年法律第132号）に基づき設立されている法人で、総合農協（農業者全部を対象として、信用事業その他の事業を総合的に行っている農協）と専門農協（特定の作目を営む農業者が組織し、その特定作目に係る事業を行っている農協）に区分される。

管内には、23の総合農協（以下「JA」という。）と2つの専門農協があり、販売、購買、信用、共済、営農指導などの各種事業を通じ、組合員の経営の安定と生活の向上、また、地域農業・経済の発展に大きな役割を果たしている。（※ 令和3年3月「十勝池田町農協」と「十勝高島農協」の合併で「十勝池田町農協」が発足）

十勝管内における総合農業協同組合の事業概要

（単位：戸、百万円）

事業年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	
正組合員戸数	5,897	5,808	5,727	5,629	5,569	5,497	
信用事業	貯金残高	663,729	684,766	716,416	732,027	753,415	784,446
	預金	532,502	572,411	609,242	624,182	635,593	675,782
	貸出金	165,586	157,405	151,083	154,261	159,012	159,544
共済事業	長期共済保有高(保障)	1,262,662	1,233,185	1,202,302	1,171,361	1,144,343	1,118,075
購買事業	購買供給高	128,738	124,592	132,745	136,708	137,713	132,910
販売事業	販売支払高	301,111	295,443	321,761	322,544	334,064	330,656

（JA北海道中央会帯広支所「十勝管内JA要覧」）

十勝管内の総合農業協同組合の占める位置(令和2事業年度)

（単位：戸、百万円、%）

区分	全道	十勝	十勝の占める割合	
組合数	105	24	22.9	
正組合員戸数	41,402	5,497	13.3	
信用事業	貯金残高	3,638,290	784,446	21.6
	預金	2,945,785	675,782	22.9
	貸出金	768,875	159,544	20.8
共済事業	長期共済保有高(保障)	6,610,094	1,118,075	16.9
購買事業	購買供給高	478,587	132,910	27.8
販売事業	販売支払高	1,084,355	330,656	30.5

（「全道」についてはJA北海道中央会「北海道 2021JA要覧」、
「十勝」についてはJA北海道中央会帯広支所「令和2年度十勝管内JA要覧」）

近年では、農業協同組合に対し、事業運営において法令等を遵守する態勢を整備することが、社会的存在として求められており、「コンプライアンス規程」等の整備により、組織全体として法令等の遵守体制の確立を図っているところである。

また、農業協同組合系統金融機関の経営の健全性等を図る手段として、「一定率の自己資本比率の確保」及び「一定率を下回った場合の早期是正措置」が定められている。平成16年には、バーゼル銀行監督委員会「自己資本の測定と基準に関する国際統一化～改訂された枠組み」が定められ、その健全性の維持及び継続的な経営内容の把握、改善の促進のため、行政庁によるモニタリングや必要に応じた適切な監督上の措置が講じられている。

なお、道としては、「個別農協に対する監視・指導」として、平成14年度から、財務内容が脆弱、農協法施行令が定める財務基準を満たしていないなどの農協を、道独自の基準により「重点監視農協」と位置付け、当該農協自身による経営健全化に向けた取組の強化に向けた指導を行っているところである。

11 関係機関・団体（農協系統組織）

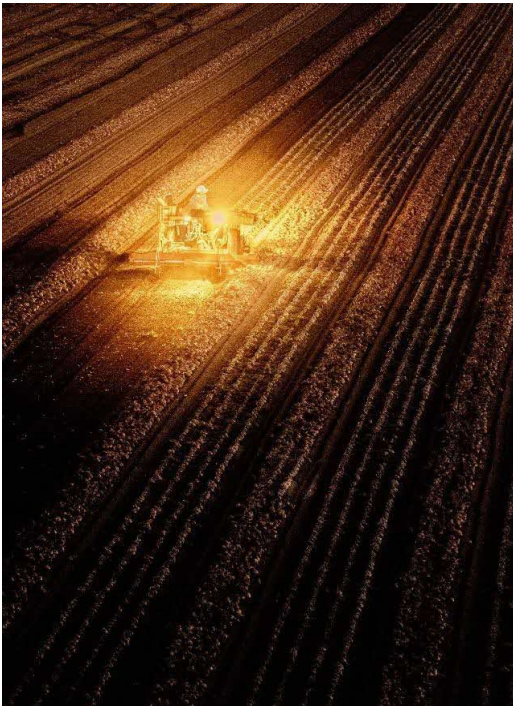
○ 農協系統組織

農業協同組合は、販売、購買、信用、共済、利用、指導など多岐にわたる事業を行っていることから、農協の事業・経営の指導等を行う中央会及び農協の事業部門ごとの集約組織である連合会が設けられており、それぞれ都道府県段階、全国段階に組織がある。このうち管内には、北海道段階の連合会の支所が帯広市に所在しており、管内農業の発展のため、それぞれの機能を生かし、管内JA、生産者並びに地域農業の発展に大きな役割を果たしている。

農協系統組織と主な事業内容

連合会の名称	管内に所在する組織名	主な事業内容
北海道農業協同組合中央会 (JA北海道中央会)	帯広支所	農業協同組合の営農指導事業と監査業務
北海道信用農業協同組合連合会 (JA北海道信連)	帯広支所	農業協同組合の信用事業に関する業務
ホクレン農業協同組合連合会 (ホクレン)	帯広支所	農畜産物・生産資材の販売、購買事業に関する業務
全国共済農業協同組合連合会 (JA全共連)	北海道本部帯広支所	農業協同組合の共済事業に関する業務
北海道厚生農業協同組合連合会 (JA北海道厚生連)	帯広厚生病院	地域医療、会員の健康管理に関する業務

注) カッコ内は連合会組織の略称



【上・題名：鳩を積む人】

令和2年度とち農・農村フォトコンテスト
農・農村王国十勝の農部門入選作品

【左・題名：無題】

令和2年度とち農・農村フォトコンテスト
十勝の農村景観部門優秀賞受賞作品